

【1993 年 10 月 12 日】年金審議会意見書に対する厚生大臣コメント

年金審議会

年金審議会意見書に対する厚生大臣コメント

平成 5 年 10 月 12 日

- 本日、年金審議会において「国民年金・厚生年金保険制度改正に関する意見」をおまとめいただいた。昨年 6 月以来、1 年 5 か月にわたり終始熱心に御審議をいただいた委員の皆様方の御労苦に対し、深く感謝を申し上げる。
- 我が国は、世界でも未だ経験のない本格的な高齢・少子社会の到来を目前に控え、国民が豊かに安心して暮らせる社会の建設を進めることが緊急の課題となっている。
- その中で、年金制度は、国民の老後の生活設計の柱として重要な位置を占めており、国民の期待に応え続けることが必要であるとともに、将来の保険料負担が過重なものとならないようにするなど、先行きに不安のないものにしていくことが重要である。
- また、21 世紀の本格的な高齢社会を活力ある社会としていくために、高齢者の雇用の場の確保をはじめ経済社会のあらゆる分野において適切な対応が求められており、年金制度もこれにふさわしい制度にしていくことが必要と考えている。
- 本日年金審議会におまとめいただいた意見書を十分に踏まえ、今後、具体的な制度改正案の作成に精力的に取り組んでまいりたい。